

平成23年度病害虫発生予報第10号

平成23年12月27日
愛 知 県

1 露地野菜

キャベツ菌核病は、発病株から隣接株に感染します。また、発病株上にある菌核は伝染源となるので、発病株は抜き取り、畑の外へ持ち出し、適切に処分しましょう。

2 施設野菜

トマトでは、葉かび病の発生は少ない状況ですが、草勢が低下すると発生が多くなるので、肥培管理に注意しましょう。また、すすかび病が発生しているほ場があります。両病害とも、多湿条件下で多発するので、換気を十分に行いましょう。農薬は葉裏にもかかるように丁寧に散布しましょう。

ナスでは、ミナミキイロアザミウマの発生が多い状況が続いています。ほ場での発生状況に注意し、防除を徹底しましょう。また、すすかび病の発生が多くなる時期なので、発病を確認したら速やかに防除しましょう。

キュウリでは、べと病の発生は平年並ですが、多湿になると発生が多くなります。施設内の換気を十分行い、余分なかん水を避けるなど過度に湿度を上げないように努めるとともに、早めの防除を心掛けましょう。また、ミナミキイロアザミウマの発生がやや多いほ場があります。本虫が媒介する黄化えそ病の発生も県内各地で確認しています。発病株は抜き取り、適切に処分するとともに、本虫の防除を徹底しましょう。

灰色かび病の発生はトマトでやや少なく、ナス、キュウリ、イチゴで平年並の状況ですが、曇雨天が続いて施設内が多湿になると発生が多くなります。発生が少ない場合でも積極的に換気や送風を行うとともに、伝染源となる発病果や発病葉は速やかに取り除いて適切に処分しましょう。

イチゴでは、ハダニ類の発生がやや多い状況です。暖房機の吹き出し口付近などでは、部分的に多発することがあるので、注意して観察し発生を確認したら早めに防除しましょう。農薬は天敵への影響に注意して選定しましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	疫病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
	葉かび病	少ない	全域	12月下旬の発生量は少ない	-
ナス (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロアザミウマ	多い	全域	12月下旬の発生量は多い	+
	ハダニ類	やや少ない	全域	12月下旬の発生量はやや少ない	-
キュウリ (施設)	べと病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロアザミウマ	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+
イチゴ (施設)	灰色かび病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	うどんこ病	平年並	全域	12月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	全域	12月下旬の発生量はやや多い	+

・防除対策

〔ナス(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

ダントツ水溶剤、ハチハチ乳剤などで防除しましょう。なお、訪花昆虫や天敵を導入しているほ場では、それらに影響の少ない農薬を選定してください。

〔キュウリ(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

アフーム乳剤、スタークル/アルバリン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・ハダニ類〕

ダニサラバフロアブル、ニッソラン水和剤などで防除しましょう。天敵を導入している、あるいは今後導入を予定しているほ場では、それらに影響の少ない農薬を選定してください。

参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台 12月23日発表）

特に注意を要する事項

期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。

予想される向こう1か月の天候

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

週別の気温は、1週目は低い確率80%、2週目は高い確率60%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い：30% 平年並：40% 高い：30%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

予想される天候の特徴

当地方の向こう1か月の天候は、冬型の気圧配置が現れやすいでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。期間のはじめは冬型の気圧配置が強いでしょう。

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも、洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

E-mail 配信のご案内

予報（病害虫の発生予察情報）、最新情報（病害虫の防除情報など）、注意報、その他情報（いもち病情報など随時）などをメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は

件名に「E-mail 配信の申し込み」

本文に 氏名

住所（市町村までで結構です）

職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病害虫防除グループまでメールでお申し込みください。

病害虫防除グループメールアドレス byogaichu@pref.aichi.lg.jp



E-mail 配信

2011.10.1

発生予察情報

・ [予報第7号（10月）](#)

※ PDFファイルを使用しています。

・ [吸実性カメムシ情報第1号（ダイズ）](#)

※ PDFファイルを使用しています。

・ [調査データ](#)

トラップ（フェロモン、粘着）及び予察灯への誘殺数のグラフです。

※ PDFファイルを使用しています。

[あいち病害虫情報ホームページのトップはこちら。](#)

（リンク先が表示されない場合は Ctrl キーをおしながらクリックしてリンク先を表示する）

（連絡先）愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ
電話 0561-62-0085